

経営比較分析表（令和2年度決算）

岡山県高梁市 国保成羽病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	8	-	ド訓	救臨へ輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
29,305	8,307	第2種該当	-	10:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

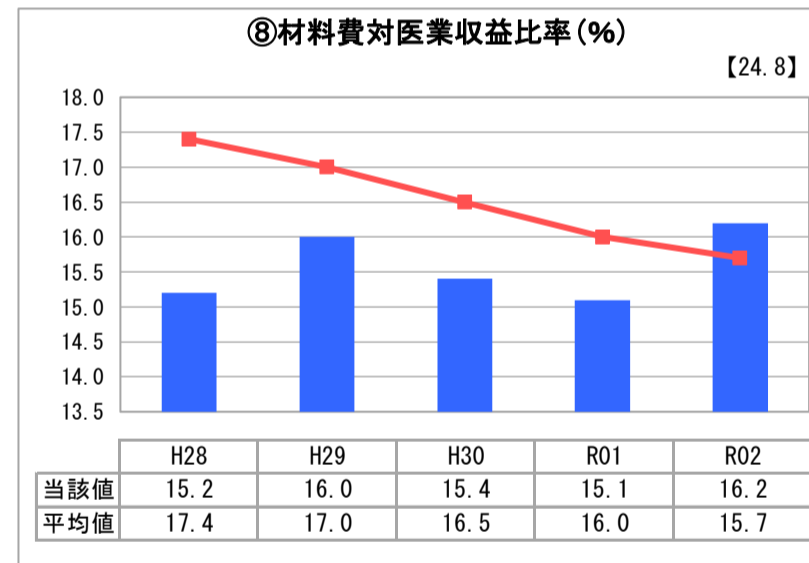
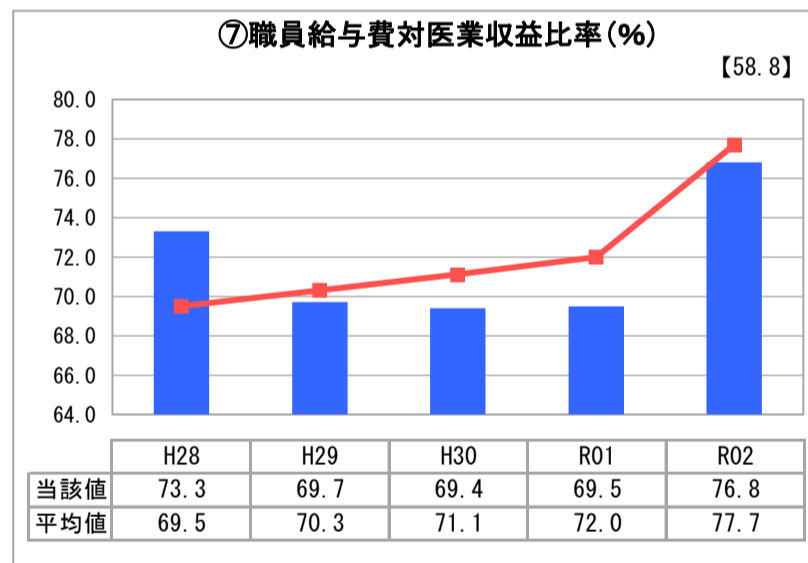
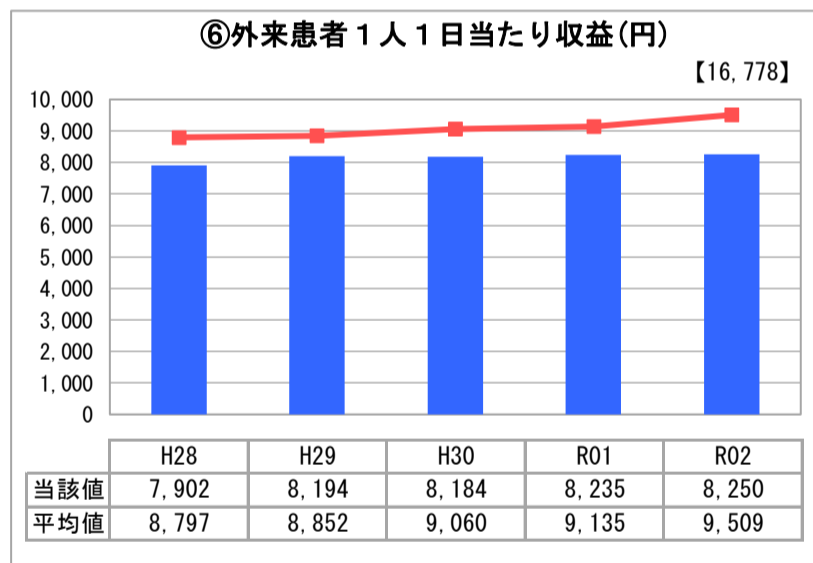
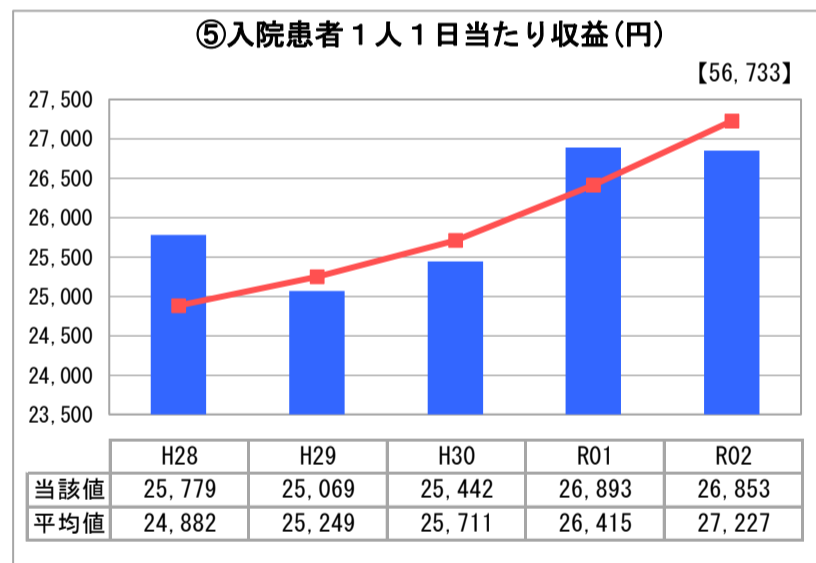
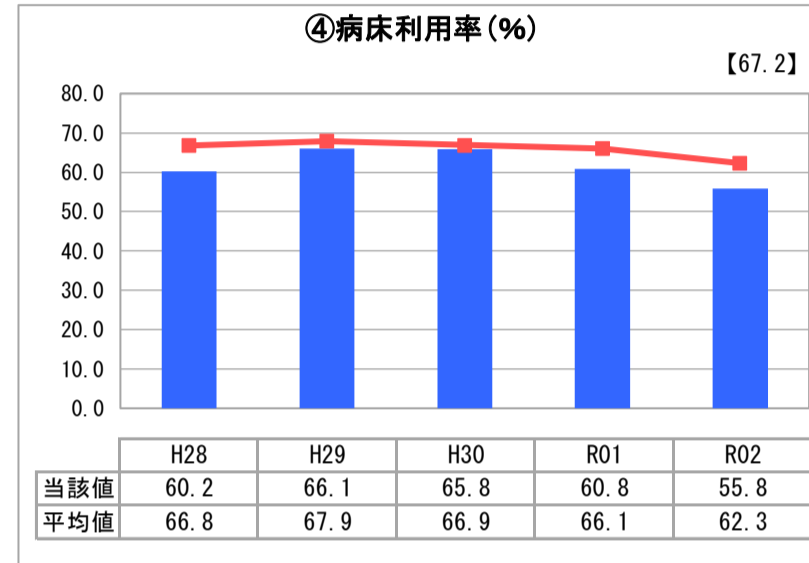
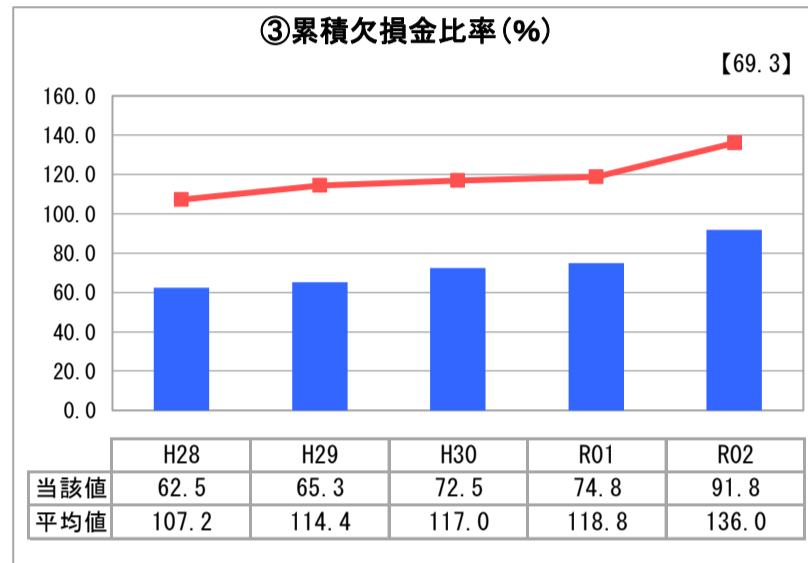
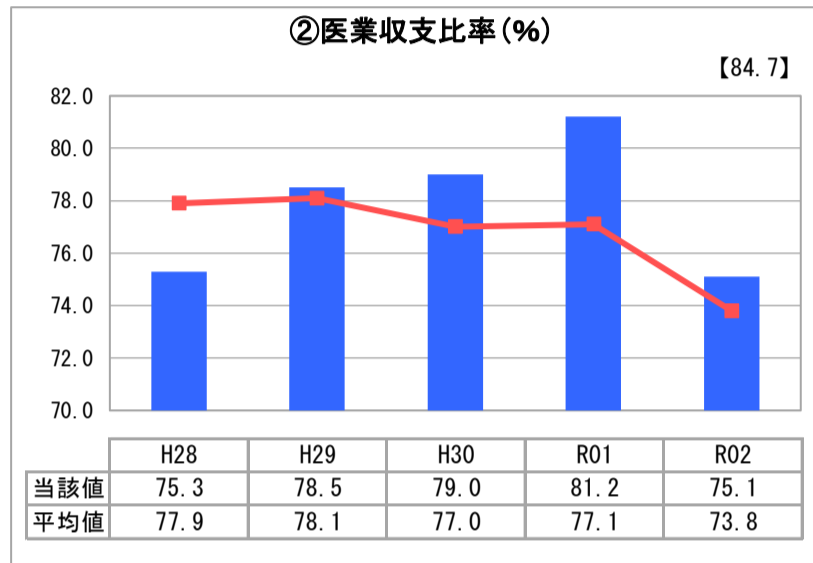
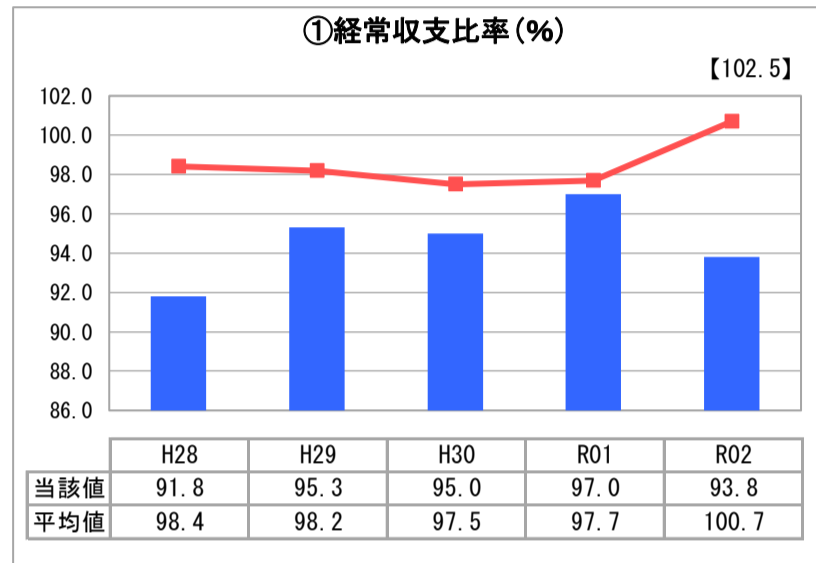
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
54	42	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	96
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
52	18	70

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	令和2年度全国平均

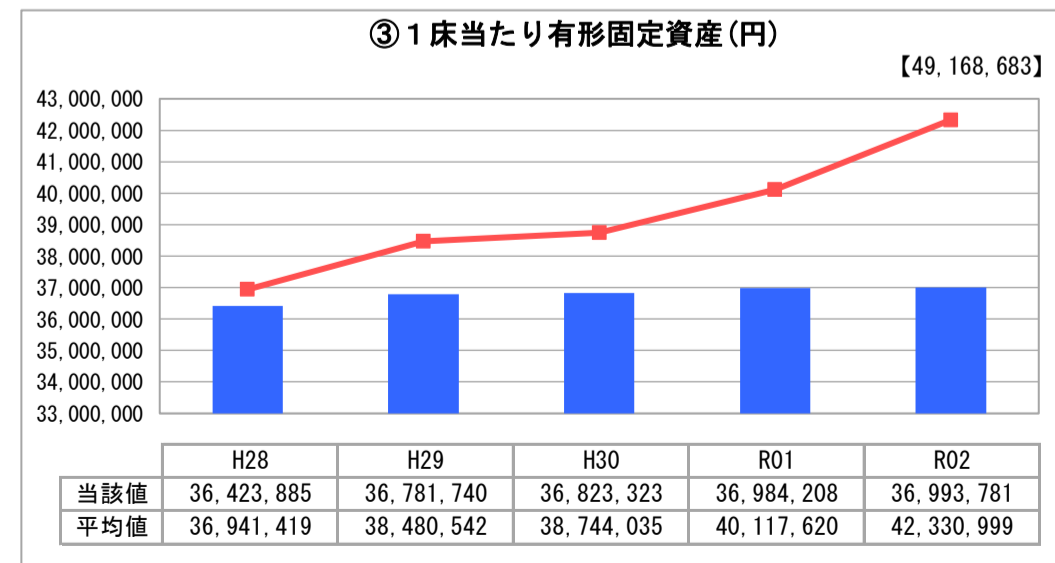
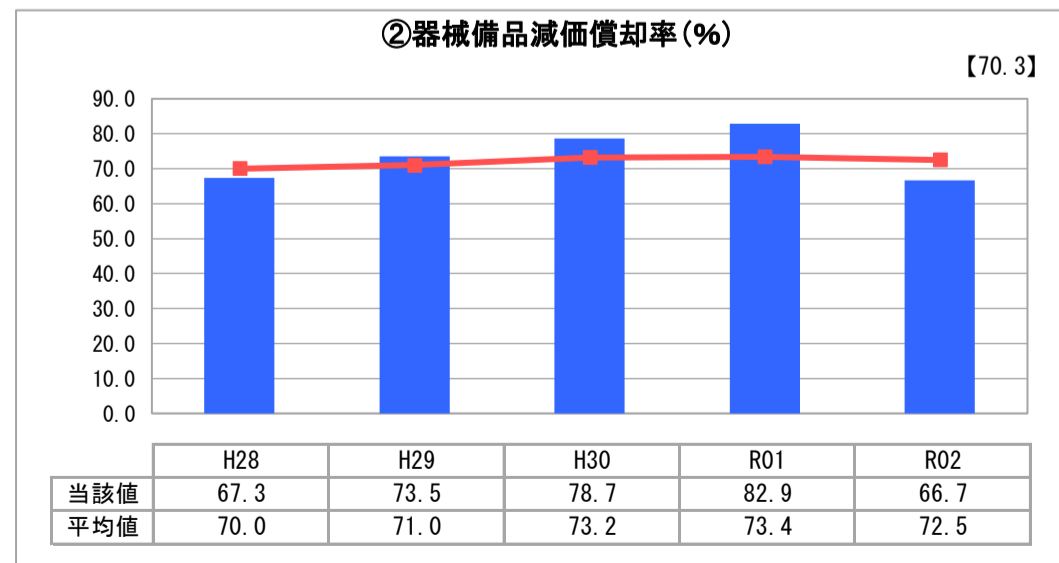
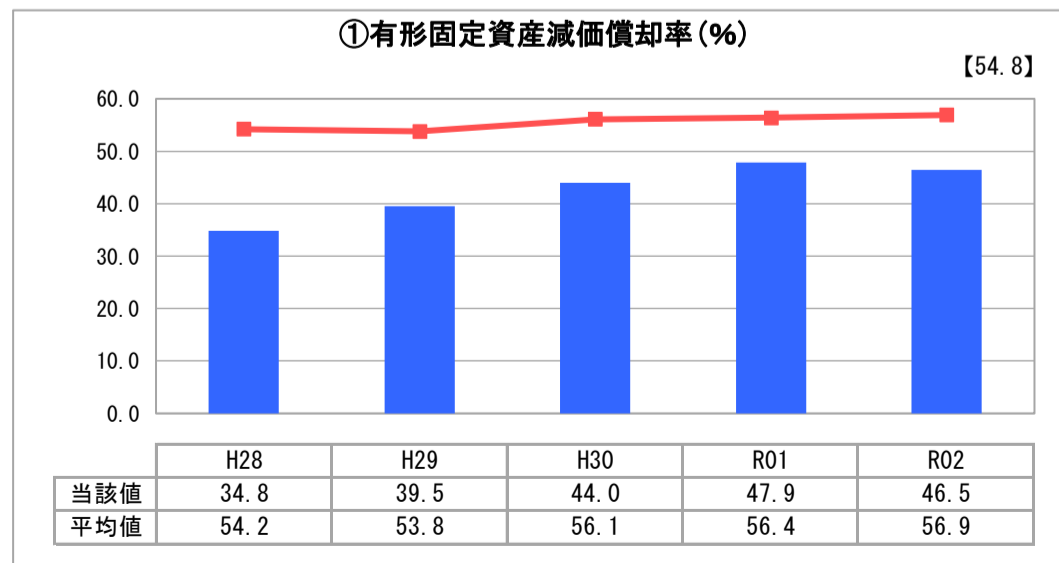
公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



I 地域において担っている役割

高齢化率の著しく高い高梁市西部地域において医療を担う唯一の公立病院です。人口減少や少子高齢化の急速な進展、生活習慣病の増加等による疾病構造の変化、医療の高度化・専門化等、医療環境が大きく変化する中において、地域医療を確保するための公立病院としての重要な役割を果たしてきています。

また、新型コロナウイルス感染症の入院患者受入れ、発熱外来の設置、ワクチン集団接種業務の受入れ等、公的病院の責務と捉え積極的に取り組んできました。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本館の建て替えによる減価償却費の増大、附属診療所の運営管理、職員の高齢化による給与水準の上昇等に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による受診控え、感染症患者の入院受入れに伴う療養病床のコロナ病床転換等の影響もあり、医業収益は前年度比9.0%の減少、累積欠損金比率は大きく上昇しました。

これに伴い、①経常収支比率、②医業収支比率ともに前年度数値を下回り、対医業収支比率となる⑦職員給与費対医業収益比率、⑧材料費対医業収支比率は高くなっています。

また、療養病床の利用制限により、病床利用率が下がっています。

2. 老朽化の状況について

本館を平成24年度に建て替えており、また旧施設を使用しているMRI棟についても、本館建て替えと同時に改修しています。施設の老朽化については問題はなく、有形固定資産減価償却率は全国平均値、類似病院平均値を下回っています。

令和2年度に、電子カルテを含む病院情報システムを更新したため、有形固定資産減価償却率、器械備品減価償却率が共に下がっています。

全体総括

前年度まで経常収支比率等の数値は改善傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の影響もあり、病院経営は依然厳しい状況が続いています。

このような状況ではありますが、地域において必要な医療を安定的、継続的に提供し、地域医療を守るべく、経営の健全性、効率性を求めて病院改革に取り組んでいきます。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。